

新年あけまして
おめでとございます



今月のイベント

『動物園でハッピーニューイヤー』
2024年1月1日(月)～1月3日(水)
開園時間：10時～15時☆(入園は14時30分まで)

『動物たちに年賀状を送ろう』
年賀状の受付期間：2024年1月15日(月)まで

イベントの詳細についてはホームページをみてね！

HPもチェックしてね！



2024年須坂市動物園オリジナルカレンダー好評発売中！！



今年は「竜」と「動物たち」がデザインされています♪
販売価格：100円 サイズ：B2拡大版



トカラヤギの冬仕様



クリスマスも終わり本格的な冬になりましたね。私たち人間が季節や気温で衣替えをするように、動物たちも毛が変わり(換毛)夏毛・冬毛と季節によって毛の量を調整します。また夏には暑くて食欲が落ちてしまった動物たちも涼しくなってくると夏の給餌量ではもちろん足らず、食べ終わった後「もっと食べたいよー」と鳴いてアピールしてきます。私が特に冬になり姿が変わったと思う動物がトカラヤギです。特に1歳の『バニラ』が2ヶ月前と比べ体が大きくなったと感じます。短かった毛は長くフワフワなものに生え変わり、体格も顎の下にお肉がつくほど脂肪を蓄えました。そんな『バニラ』も可愛く愛おしいです。昨年生れたの『タイヨウ』は初めての冬です。『タイヨウ』も食欲旺盛で運動場を掃除していると服を噛んで「早くご飯が欲しい」とアピールしてきます。幼獣時と比べ体格もだいぶ大きくなり、父さんの『だいち』の頭突きでも鍛えられています。お母さんの『フウカ』も運動場で座っていることが多いですが、餌の時間は取り合いをしています。そんな元気なトカラヤギファミリーには今年もたくさん食べて寒い冬を頑張って乗り越えてほしいです。私も寒さ対策をしっかりとおこないたいと思います。皆さんも暖かい服装でゆっくりとトカラヤギファミリーを観察しに来てください。

南園担当 鈴木 麻菜美




ニホンジカ『いずみ』


当園の南園では一頭で生活しているメスのニホンジカが居ます！
 その名は・・・『いずみ』です!!いずみは昨年の6月で22歳となった
 おばあちゃんジカです。ニホンジカの平均寿命が15～18年と言われている中いずみ
 は22歳なのでご長寿さんになります。ご長寿ということもあり日々の健康観察やエサ
 の内容・量はとても重要になってきます。
 エサは主に、ニンジン・リンゴ・ふすま・圧ペンを混ぜ合わせた配合飼料と乾草を給餌
 しています。普段は小屋の中でエサを食べているのですが先日、専門学校の実習生に
 作ってもらったエサ器を小屋の外壁に設置したのでタイミングが合えば、いずみがエ
 サを食べているところを観察することができますよ!これから更に寒さが厳しくなってい
 くので、たくさんエサを食べて体力をつけてほしいです!!
 ここで『いずみ』についてご報告です。今年の秋頃から年齢ということもあり左目が
 白内障になっています。現在、治療をされており食欲は変わらず旺盛で、南園に響き
 渡るほど大きな声で鳴っていて元気もありますので、これからも皆さんに暖かく見守っ
 ていただきたいです!!


ニホンジカ担当 岡本 歩


動物たちに年賀状を送ろう


受付期間:2024年1月15日(月)まで
 年賀状送付先:〒382-0028 長野県須坂市臥竜2-4-8
 須坂市動物園 ○○○(種名・愛称)宛て






懸命な巣作り姿に感動…


皆さん、オグロプレーリードッグが巣作りをしている姿を見たことがありますか?
 野生では草原地帯に生息しているため、寒さが苦手です。
 動物園の1日の中でも朝の10時頃から15時頃の暖かい時間帯にエサを食べたり、
 巣作りをしたりしています。また、オグロプレーリードッグの習性で巣穴を作るときに
 掘った土を入口に積み上げるということをします。当園では、運動場や寝室に土では
 なく乾草を使用しているため、乾草を巣穴の入口に積み上げているところが見られ
 ます。そこで、私はこの間、実際に初めて必死に巣作りをしているプレーリードッグを
 目撃してしまいました。いったいどんな姿だったかというと…
 乾草をくわえた口と両方の前足を使って、まるでブルドーザーのように巣穴の入口へ
 向かって押し運んでいたのです。近くの乾草はもちろん、入口から離れたちよっぴり長
 い距離もただひたすらに一生懸命に運んでいました。いつも掃除のときに乾草を
 平らにしているのですが、次の日になると積みあがっているのを目にするので、
 実際に積み上げているところを見られて感動してしまいました。
 皆さんにもそんな彼らの懸命な姿をぜひ実際に見ていただきたいです。


オグロプレーリードッグ担当 山口友里